

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立富樫小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒921-8175
石川県金沢市山科3丁目6番60号

E-mail : togashi-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/togashi-e

児童生徒数：男子 254 名 女子 253 名 合計 507 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年生（生活科） 季節と遊ぼう

- ・季節ごとに、地域の自然の中に飛び出して、自然のすばらしさに触れる学習を行った。4月には、校区を流れる伏見川へでかけ、芽吹いたばかりの草花を見つけたり、河川敷で遊んだりした。6月には、雨の日の校庭へ飛び出し、雨の音や水溜まりの様子を感じながら、雨を楽しんだ。7月には、伏見川へ行き、体全体を使って川遊びをして楽しんだ。事前に、自分で遊びたいことを考え、計画を立て、必要なものを準備する学習を行ったことで、とても意欲的に活動に取り組んだ。例えば、生き物探しや、石で水切り、サンダルを履いての川歩きなど。それらの活動の中で、友達と教え合ったり、転ばないように手をつないで歩いたり、水をかけないように気をつけ合ったりと、関わり合う姿が多く見られた。また、水温の変化から季節の移り変わりを感じ取ることができた。10月には、校区のバラ公園へ行き、バラの香りを楽しんだり、どんぐり拾いをしたり、秋を感じることもできた。

2年生（生活科） まちたんけんで大発見しよう

- ・「まちをたんけん大はっけん」という大単元の中で、富樫校区のよさについて知る学習に取り組んだ。春は、自分のお気に入りの場所（施設・商店・公園など）を紹介し合った。そして、各自が選んだ校区内の公園に出かけ、遊んだ様子をワークシートに表現し、見合った。夏には、一人一鉢でお世話をした野菜の収穫や、近くの大乗寺丘陵公園で探した虫の飼育・観察などを通して、富樫校区の自然のよさを感じ取ることができた。秋には、校区の施設やお店などへ、子どもたちだけのグループで出かけた。探検当日までの計画、見学などの許可も子どもたちが主体となるように支援した。地域の方と直接ふれあうことで、さらに富樫校区のよさを実感したようだ。探検の内容をグループごとにまとめ、参観日を利用して、保護者にも発信できたことがよかった。
- ・金沢の遊びについて親しむために、昔遊びのインストラクターから、旗源平の由来や遊び方について教えて頂いた。後日、ろう学校の友だちとも交流でき、さらに楽しめたのがよかった。

3年（総合的な学習の時間） 富樫校区のよさを発見しよう

- ・富樫校区に住むゲストティーチャーの方を招き、校区のよさを学んできた。4月から10月にかけて、竹について学習した。富樫校区は、市内有数の竹の子の産地である。5月には遠足で竹の子掘り体験をし、新聞にまとめた。また、9月には竹でびゅんびゅんごまを作って遊んだ。
- ・11月からは金沢の文化である和菓子について学習した。それぞれが金沢の和菓子を調べた後、実際に和菓子作りを体験し、味わった。2月には和菓子の学習を生かし、お茶会を開いた。
- ・地域にたくさんのゲストティーチャーの方がいることを知り、校区のよさを見つけることができた。竹の子掘りでは、考えていた以上に難しく体力のいるものだということがわかり、名人の技を感じていた。また、お茶会では、「もてなし」の心をもって、友だちのために一生懸命お茶をたてることができ、よい関わりができた。

4年（総合的な学習の時間） 富樫校区のよさを交流し合おう

- ・伏見川探検に出かけ、一人ひとりが追求したい課題を見つけた。課題から調べたいテーマを決め、テーマごとにグループを作り、課題解決に取り組んだ。調べたことをグループごとに発表し、聞き合った。12月には、ろう学校の4年生と一緒にサケの飼育について金沢市環境課の方からお話を聞き、校内放送で全校に発信した。3月には、飼育したサケの稚魚を伏見川に放流した。身近な伏見川に意識を向け、郷土愛を育んだとともに、サケを人間の共通点を見つけ、生命の連続性に気づくことができた。

- ・社会科の授業の発展として、金沢の伝統工芸について学んだ。金沢仏壇の職人の方から金箔の箔押しを指導して頂き、お皿と鉛筆に箔押し体験をした。仏壇作りの工程や職人の方々の思いを知ることができ、伝統工芸を守り続けることの大切さについて考えることができた。

5年（総合的な学習の時間） 金沢や日本を再発見しよう～食を通して～

- ・バケツ稲を育てる体験を通して、自分たちの主食である米について興味を持った。また、調べ学習では、米づくりについてだけでなく、稲作の歴史や米料理など多岐に渡ったテーマについて意欲的に調べ、まとめることができた。まとめた内容をわかりやすく伝える工夫をし、4年生に発表した。
- ・校区で育てられている「たけのこ」をきっかけとして、様々な加賀野菜について調べ学習を進めた。さらに、それぞれの加賀野菜を使った加賀料理についても学びを広げていった。また、広告の形まとめることで、相手意識、発信意識を持って取り組むことができた。以上のことから、地産地消の意味を理解し、食の安全について考えることができた。また、金沢の食文化についても、各自自分の考えを持つことができた。

6年（総合的な学習の時間） 自分の生き方を考えよう～金沢の歴史を通して～

- ・郷土史に詳しい方々に富樫校区や金沢の歴史、前田家についての話を聞いて、地域の成り立ちに関心を持った。金沢の歴史的な場所や前田百万石について自分で課題を設定して調べ、新聞やリーフレットにまとめて読み合った。
- ・調べた場所を参考に、金沢歴史探訪として実際に巡る計画を立て、グループでの担当を話し合った。前田家のことや古い商家のことなど、それぞれの調べたことをプレゼンソフトでまとめ、ろう学校とともに発表会を開いて学び合った。これらの活動から、金沢市が歴史と伝統を大切にしている町であることを具体的に理解するとともに、百万石の名残が深く残る金沢の街を誇りに思うことができた。文化的な価値を守り、これからもふるさとを大事にする思いを持つことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）